

議 事 録					
公開・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
			文書管理責任者	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
				作成日	令和7年9月19日
市民生活部長	生活環境課長	生活環境係長	係 員		記録者所属 生活環境課生活環境係
					職・氏名 主査 田中 洋城 印
会議等の名称	令和 7 年度 第 2 回 東御市地球温暖化対策地域推進協議会			開催日時	令和7年9月19日
					午前10時00分～午前11時00分
				場 所	本庁舎 2 階 全員協議会室
主催者(事務局)	市民生活部 生活環境課 生活環境係			司会者	岩下 雄司（生活環境課長）
出席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり				
欠席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり				
議 題	(議題) (配布資料) (1) 第 2 次東御市地球温暖化対策地域推進計画(改定版)の見直しについて ・ 次第 ・ 会議資料				
決定事項	なし				
確認・検討事項	・ 施策No.2-3-②「農業環境の保全」について、施策を削除せず、他の指標を検討する。 ・ 施策No.2-1-③「とうみエコライフDAYの実践」について、取り組み方法の変更を検討する。 ・ 施策No.4-1-①「プラスチック削減運動」の目標について精査する。 ・ 再生可能エネルギーの利用促進に関する施策目標の上方修正を検討する。 ・ 空き家の問題に関する施策の追加を検討する。				
次回への検討事項	なし				
次回開催	(日時)		未定		(場所) 未定

討議内容及び経過	（発言者名）	
1. 開会	岩下課長	（開会）
2. 会長あいさつ	会 長	（会長あいさつ）
3. 会議事項		それでは会議事項（1）第2次東御市地球温暖化対策地域推進計画（改定版）
		の見直しについて、事務局より説明をお願いします。
	田 中	（資料に沿って説明）
	会 長	ただいまの説明に対し、ご意見・ご質問等はあるか。
	委員A	資料3ページに「農業環境の保全」という施策を削除するとあるが、GAPの
		の取得について、これまでどのように取り組んできたのか。
	山浦課長補佐	GAP取得については、認定農業者を中心にGAP取得を促してきたと担当課から
		聞いている。
	委員A	これまで実績がないことに対し、どういった評価をしたのか。
	田 中	東御市環境マネジメントシステムを構築し、計画の進捗管理を行っている。
		また、内部環境監査を実施し、結果の精査を行っている。
	会 長	この施策は「地産地消」の推進のために行うもので、削除するのではなく
		GAP取得者数以外の指標を定めたらどうか。
	田 中	他に指標となるものがないか、担当課である農林課と協議する。
	委員B	これまで削減に貢献している施策があればそれを伸ばすべきである。
	田 中	A3資料のNo.1から始まる施策が再生可能エネルギーの普及についてが、
		削減に貢献している施策である。このあたりを庁内で再度検討し、目標
		を上げることができないか検討する。
	委員A	施策No.2-1-③「とうみエコライフDAYの実践」について、年々参加率が減っ
		ているが今後どのように進めていくのか。
	田 中	とうみエコライフDAYとは、家庭でできる取り組み項目の中から、取り組み
		たものをチェックし、どのくらい削減に繋がったのかを紙媒体で回収する
		ことにより、省エネルギー行動の普及啓発をするためのものである。
		令和3年まで紙を配布して回収していたが、令和4年から電子回答になった。
		電子回答になった途端に回収率が低くなってしまったという経緯がある。
	委員A	どちらか一方にするのではなく、紙と電子の両方で進めてはどうか。
	田 中	やり方についてはより良い方法を検討していく。
	委員B	施策を追加することは可能か。
	田 中	可能である。

討議内容及び経過	（発言者名）	
	委員B	空き家の問題も地球温暖化対策に繋がるため、何か施策に追加できないか。
	田 中	空き家問題については、地球温暖化対策地域推進計画の上位計画に環境基本
		計画があり、その計画には掲載されている。空き家問題に関する施策を追加
		できるかコンサルと相談する。辻委員の方でアイディアがあれば教えていた
		だきたい。
	委員B	空き家は言い方変えるとゴミであり、利活用することでゴミの削減になる。
		また機会損失でもあり、住めるものを住めなくしてしまう。新築は多くの
		エネルギーを使用するため空き家問題の解消は地球温暖化対策に繋がる。
	田 中	削減量の計算については難しいと考えているが、他市町村の事例を参考に
		検討する。
	会 長	どの施策を推進すれば効果的なのがわかってきている中で、その施策を
		牽引するような環境学習の推進や啓発に変えていってもよいと思う。
		講演会など開いてもCO2の削減にはならないが、講演会により再エネ導入
		に結び付けることを検討したらどうか。
	田 中	市では太陽光と蓄電池の導入をメインとして事業を行っており、これに
		結びつく講習会なども検討していきたい。
	委員C	太陽光パネルの廃棄について何か考えているか。
	田 中	経済産業省で廃棄費用の積立制度があり、それをもとに各自で廃棄して
		いただくことを考えている。
	委員A	施策No.4-1-①「プラスチック削減運動」について、レジ袋の有料化によ
		り、マイバッグ持参率の調査を行っていないため、目標の変更が必要。
	田 中	担当や関連団体と協議する。
	委員B	各施策の費用対効果の検証は行っているのか。
	田 中	行っていない。
	委員B	費用対効果の検証が行われれば、どの施策がより効果的なのがわかる。
		この計画に施策を記載したことにより予算に反映されるのか。
	岩下課長	重要なものであれば反映されるが、限られた予算の中で編成しているため
		記載したからすぐに反映されることはない。
	委員A	都市計画道路整備事業は実施していないのか。
	岩下課長	担当している建設課では実施していない。現在は歩道拡幅工事がメインと

討議内容及び経過	（発言者名）	
		なっている。
4. その他	会 長	会議資料について、事前にいただけると数値の確認などが行える。
	田 中	1週間前ぐらいにはお渡しするようにする。
		（他に意見なし）
	会 長	以上で会議事項を終了する。
	岩下課長	委員の皆様から何かあるか。
		（なし）
	岩下課長	（閉会）
5. 閉会		

令和7年度 第2回 東御市地球温暖化対策地域推進協議会 出席者名簿

(敬称略)

氏 名	所属	出欠
中村 淳也	上小トラック協会	出席
船田 寿夫	東御市環境審議会	欠席
木村 啓二	東御市建設業協会	出席
荒井 浩正	東御市商工会	出席
佐藤 千枝	東御市くらしの会	出席
佐藤 芳明	東御市工業振興会	欠席
可知 英樹 (代理：有賀 茂)	東信森林管理署	出席
久保木 匡介	長野大学環境ツーリズム学部	出席
小林 正樹	信州うえだ農業協同組合	欠席
辻 新一郎	公募（フード&エコロジー信州）	出席

【事務局】

岩下 雄司	市民生活部 生活環境課 課長
山浦 晃隆	市民生活部 生活環境課 生活環境係 課長補佐兼係長
田中 洋城	市民生活部 生活環境課 生活環境係 主査